

天中だより

第8号
文責
永野敏夫

「希望」

天中文化発表会開催

10月16日(土)、文化発表会を開催しました。今年のテーマは「希望」です。このテーマには、「コロナ禍にあっても希望を持って明るい未来に向かって歩み続けていきたい。」という思いが込められています。今年の文化

発表会では、各学年によるステージ発表、合唱コンクール、各教科の作品展示、「あまくさカレッジ講座」がありました。

各学年のステージ発表では、1年生は9月に行われた世界遺産学において崎津集落や天

草コレジオ館を訪れて学んだ内容を、テレビ番組仕立てで発表してくれました。1年生らしい元気よさで、世界遺産学を通して学んだことがよく伝わってき

ました。2年生は「リーダーは、魔女」というタイトルで、校内魔法大会でリーダーを任

じた。3年生は「3年A組、僕たちはどう生きるか」というタイトルで、将来は天草を離れたらという生徒たちが、総合的な学習で天草の福祉や人口減少の実態を学んだ

り、他の所から天草に移住してこられた方へのインタビューを通して、「将来は天草のために何かできることを

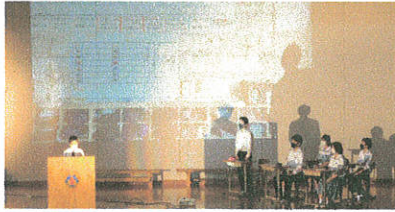
していきたい。」という思いを持つ内容の発表でした。天草を抱えている課題や天草の素晴らしさを再認識させる発表でした。合唱コンクールでは、各学年少人数ながら、素晴らしい歌声を響かせてくれました。特に最優秀賞を受賞した3年生は、さすがに最上級生としての貫禄を感じさせてくれました。その他に、美術科・国語科・総合的な学習・大空学級の作品・折り鶴



▲2年生「リーダーは、魔女」



▲1年生「世界遺産学」



▲3年生「3年A組、僕たちはどう生きるか」



▲国語科作品展示



▲1年生「世界遺産学」展示



▲大空学級展示



▲3年生福祉体験展示



▲美術作品展示

森下君、県大会三位入賞
中体連陸上県大会走り高跳び

10月2日(土)、熊本県民総合運動公園において、県中体連陸上大会が開催されました。本校からは、3年生の森下晃太郎くんが走り高跳びに出場し、171cmを跳んで県3位に入賞しました。新型コロナウイルスの感染予防のためし



ら部活動が禁止となり、練習を再開したのは大会の約2週間前からでした。練習では170cmを数回しか跳べませんでしたが、本番ではそれを上回る171cmを跳んで見事に自己新記録を達成しました。本番での緊張感やプ



レッシュヤーのある中、自己新記録を出すことができたことはとても素晴らしいことでした。天草中学校の代表としてはもちろん、天草市の代表として立派な成績を残してくれました。



▲折り鶴プロジェクト



▲「あまくさカレッジ」

折、災害復旧のため東



▲全員合唱

プロジェクトの作品が展示されました。それぞれの作品を通して、作品制作に携わった生徒たちの思いが伝わってきました。「あまくさカレッジ講座」では、防災士で現在天草市役所土木課に勤務されている松下智幸様をお迎えして「災害から身を守るために」と題して講演をしていただきました。東日本大震災の経験や災害から身を守るためにはどうすればよいかについて貴重なお話をさせていただきました。

今回の文化発表会では、様々な発表や作品は、生徒たちの創造力と表現力によって創り上げられたものです。「新しいアイデアを生み出す創造力」と「それを形にして相手にわかりやすく、魅力的に伝えるための表現力」は、これから生きていく上でとても大切な力になります。この文化発表会を通して磨いてきた創造力と表現力を今後いろいろな場面で活用してもらいたいと思います。

北地方に派遣された時の経験や災害から身を守るためにはどうすればよいかについて貴重なお話をさせていただきました。

ふるさと学習 世界遺産学

天草市では、天草の世界文化遺産関連施設を見学し、天草の歴史や文化に触れることを通して、ふるさとを愛する心やふるさとに感謝する心を養うことを目的として、ふるさと学習「世界遺産学」を全小中学校で行っています。今年度天草中学校では、9月22日(水)に1年生が崎津集落と天草コレジヨ館の見学を行いました。

まず、崎津集落へ行き、崎津集落や崎津教会を見学しました。現地では、河浦中学校の3年生がボランティアガイドを務め、各見学地で生徒たちにわかりやすく説明をしてくださいました。河浦中では、全校生徒からボランティアガイドを募って、崎津集落を訪れる方を案内する活動を行っているそうです。

崎津集落見学の後は、天草コレジヨ館へ



▲崎津教会で河浦中の生徒たちと



▲古楽器演奏の様子



▲新聞社やテレビ局も取材に来ていました



▲わかりやすく説明してくれました

移動し、館内の展示物を見学しました。最後には、古楽器演奏グループによる演奏を聴きました。とても優しい音色で、生徒たちもうっとりとした。演奏の後は、古楽器体験の間もあり、生徒たちは自分たちで古楽器を鳴らしながら、古楽器の奏でる美しい音色を楽しんでいました。

半日の見学でしたが、好天にも恵まれ、大変有意義な学習ができました。

出前ふれあいコンサート

9月30日(木)、生の演奏を鑑賞することや演奏会での鑑賞のマナーを身につけることを目的に、「出前ふれあいコンサート」を開催しました。今回は、トロンボーン奏者の辻田雅史さんとピアノ奏者の山本亜矢子さんをお招きしました。お二人とも、天草のご出身で、現在はいろいろなところで音楽活動をされている方々です。

コンサートでは「ドラゴンクエスト序曲」



をオーブニングに、「リベルタンゴ」、「A列車でいこう」、「トゥワランドット」など計7曲に加え、アンコールとして「聖者の行進」と「アイズニームドレー」の2曲を演奏していた



だきました。ピアノとトロンボーンそれぞれの美しい音色と、お二人の息の合った演奏に生徒たちも聴き入っていました。演奏だけでなく、拍手で演奏に参加したり、楽器や曲についての話、音大での学生生活についてのお話などもあり、とても楽しい演奏会になりました。



「旅するキャンパス」 天草市京都芸術大学連携事業

10月5日(火)、天草市と京都芸術大学との連携事業「旅するキャンパス」が開催されました。今回は、京都芸術大学の吉田大准教授をお招きし、最新のテクノロジーの体験とそれを使ってワクワクする天草の未来について考えるワークショップを行いました。

まず、吉田准教授から「観察力」と「アイデア」についての講義が行われました。次に、見えないものを可視化するテクノロジーとして、360度カメラとして、360度カメラ・ドローン・人の動きを解析するシステムについての紹介と説明がありました。その後、実際にこれらのテクノロジーを生徒たちが体験するコーナーもあり、生徒たちは360度カメラに映し出される映像を見たり、コンビューターが解析した自分の動きを見たり、ドローンを操作したりしながら、最新のテクノロジーを直に体験しました。そして、グループごとにこれらの最新のテクノロジーを活用してどんなことをしたいか、どんなことができるかを考えました。生徒たちからは「ドローンを使って犯人を追いかける」、「360度カメラとドローンを使って家で学校生活を楽しみたい」、「ドローンを活用して忘れ物

を取りに行く。」「ドローンを活用して犬に散歩をさせる。」「360度カメラを使って授業中に手遊びしないようにさせる。」など、ユニークなアイデアがたくさん出されました。

3月には、最新のテクノロジーを使った天草の地域活性化について考えるセミナーも計画されているそうです。興味のある人はぜひ参加してみてください。

11月の行事

- 1日(月) あいさつ運動、3年生共通テスト
- 2日(火) 3年生共通テスト、生徒朝会
- 8日(月) 生徒朝会
- 11日(木) あいさつ運動
- 12日(金) 中体連県駅伝大会
- 22日(月) 振替休業日(27日分)
- 24日(水) 期末テスト
- 26日(土) 期末テスト
- 27日(土) 小中合同持久走大会、学年学級懇談会
- 30日(火) 生徒朝会

